

中野駅周辺における高度な環境・情報都市整備に関する共同研究について

中野駅周辺における高度な環境・情報都市整備に向け、区と大学等との間で協定を締結して共同研究を行うことになったので報告する。

1. 中野駅周辺における高度な環境・情報都市整備について

中野駅周辺における高度な環境・情報都市整備は、中野駅周辺の将来像である「最先端の業務拠点」「個性豊かな文化発信拠点」「最高レベルの生活空間」の実現に向けた取組みの一環として位置付けているものである。

中野駅周辺は、行政や地域経済の中核として、他をリードする先進的な都市環境に加え、防災性や業務継続性を高めていくことが求められている。

こうした政策課題への取組みにあたって、大学等の知見を活用し、先行する研究や先端的な技術を取り込むことによって、より高度な環境・情報都市整備を目指すものである。

2. 共同研究の実施について

（1）基本的な考え方

共同研究は、区の施策形成、大学等の学理探求を目的として、共通する課題について相互の協力関係に基づいて取り組むものである。

従って、区においては、高度な環境・情報都市整備に関する専門的な知見や先端的な技術・情報等を区に蓄積することで、より効果的な施策形成に資する研究を目指すものである。

また、大学等においては、研究テーマに応じた調査や実証実験等の研究活動を、中野駅周辺を対象として行うことで、より汎用性や応用性の高い研究を目指すものである。

（2）共同研究の成立

高度な環境・情報都市整備に関する共同研究は、以下の2つの共同研究事項に寄与する、大学等における各々の研究テーマを持ち寄ることで成立するものである。その中から共通項や連携方策を見出し、中野駅周辺をフィールドとした調査、実証実験等を行っていく。

＜共同研究事項＞

- ① 平常時・非常時の状況に応じて、的確に情報を収集し発信する情報通信インフラ構築のあり方
- ② 自立分散型電源や電気・熱融通ネットワークによって災害時にも安定供給可能なエネルギーインフラ構築のあり方

（３）共同研究体制

以下の組織間で協定を取り交わした上で、各々のテーマに応じて研究を進めるものとし、研究内容のうち共通する部分については、相互に連携・協力しながら進めていく。

中野駅周辺をフィールドとする調査、実証実験等にあたっては、区が情報提供や調整等の便宜を図るものとする。

組織	研究テーマ
中野区	高度な環境・情報都市整備のあり方 災害情報の公民連携とネットワーク化の検討 災害対策支援システムの導入可能性
中野区産業振興推進機構	環境情報センシングネットワーク構築の検討 災害時対応型エリア情報ネットワークの検討
早稲田大学	災害時業務継続地区に対応する自立分散型エネルギーシステムの検討
宇都宮大学	中野区における情報整備に関する現状調査 エリア情報のあり方検討
工学院大学	
東京電機大学	情報アクセス支援アプリの研究
東北大学	

（４）共同研究成果について

共同研究によって得られた研究成果については、共同研究報告書としてとりまとめるものとし、区は具体的な施策形成への活用を図り、大学等は研究発表等を通じて社会への還元を図っていくものとする。

（５）共同研究期間

協定締結（平成２７年７月予定）から平成２８年３月までとし、研究成果に応じ延伸できるものとする。